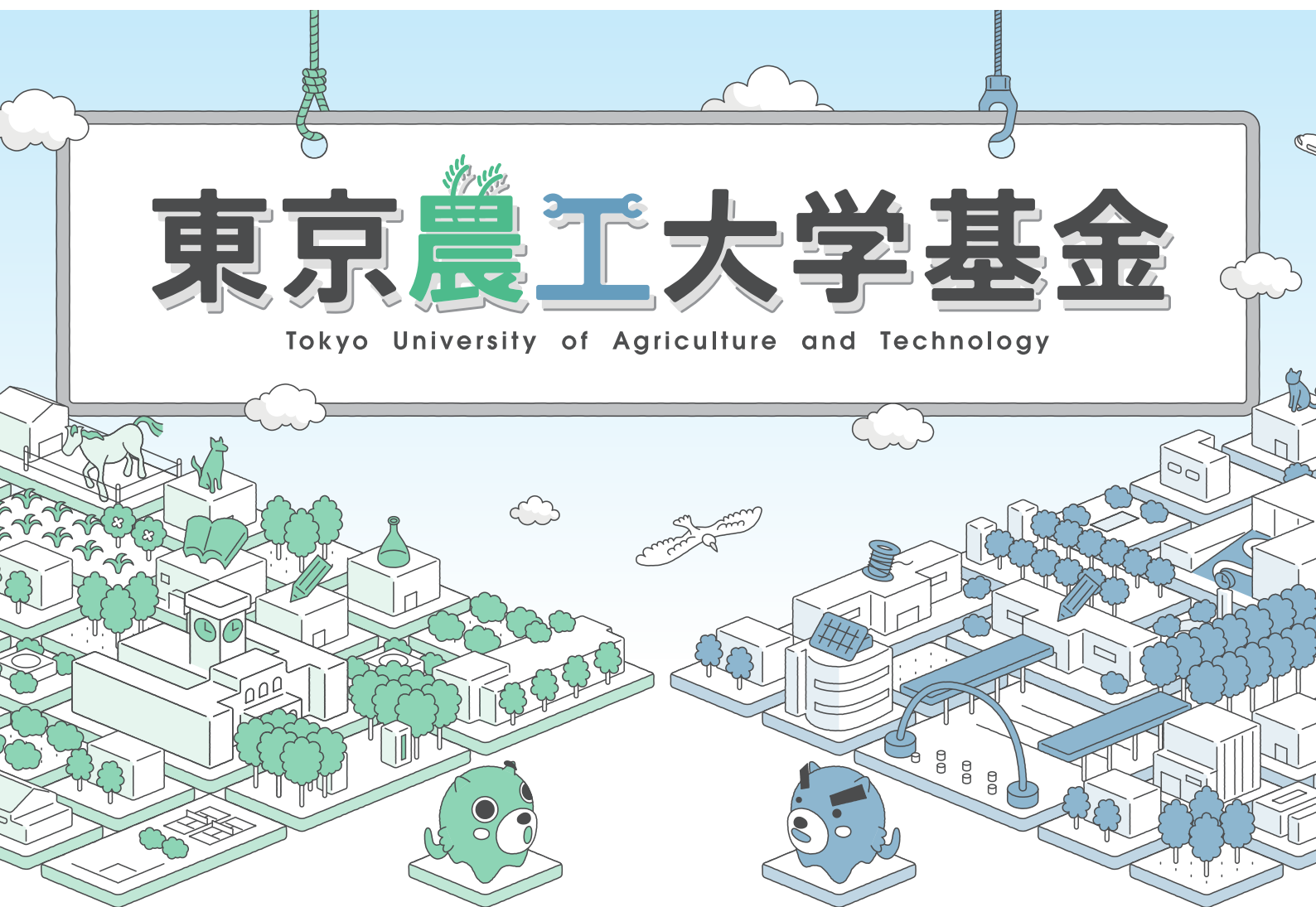




東京農工大学基金

Tokyo University of Agriculture and Technology



2025 年 4 月から
ブランドマークが新しくなりました

TUAT

- ・グリーン(A)：風と葉、自然環境
- ・ブルー(T)：波形、情報の伝達や化学
- ・藍鉄色(TU)：農学と工学の融合

創基 150 周年を機に、本学の国際的な活動をさらに加速させるため新たに制定した英文ロゴタイプを、本学の新たなブランドマークとしました。「A」と「T」の文字に、翼をモチーフにシンボル化したラインを配し、農と工が協調しながら、未来へ向かって成長していく様を表現しています。

■ 学長・同窓会長あいさつ



千葉 一裕

本学は、日本の基盤を支え成長を支える国立大学としての使命のもと、社会課題に正面から向き合う優れた教育と先進的な研究を推進し、そこに熱意を持って取り組む人材の輩出を進めています。そのために大学は自らの努力に基づく自律的な経営戦略を掲げ、新たな資金循環の仕組みづくりや、産学官のより密接な連携による事業推進も計画的に実施しています。これは、国内外の大学や様々な機関連携の中で、より高いレベルの教育研究の機会を持続発展的に創出するという、本学の大きな目標に基づくものです。こうした多様な価値観に触れる環境の中で、学生の卒業・修了後の社会での活躍の機会は益々広がって行くと考えています。

東京農工大学 学長 千葉 一裕

東京農工大学は、「実学」の精神のもと、社会を牽引する人材を輩出してきました。近年は、地球規模の課題解決に貢献すべく、教育・研究を推進しています。

しかし、大学を取り巻く環境は激変しており、更なる教育・研究環境の充実が不可欠です。東京農工大学基金は、未来を担う学生たちの学びを支え、研究活動を行うための重要な柱です。本基金の趣旨に賛同する多くの方々からの支えが、学生たちの学びを豊かにし、未来を切り拓く力を育みます。

東京農工大学同窓会としても、学びと研究の場がさらに発展していくよう、この活動を広く紹介しています。



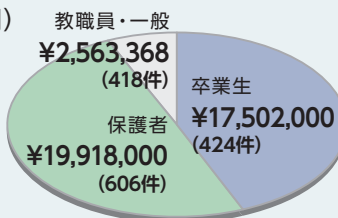
大伴 秀郎

東京農工大学 同窓会長 大伴 秀郎

■ 東京農工大学基金へのご寄附状況

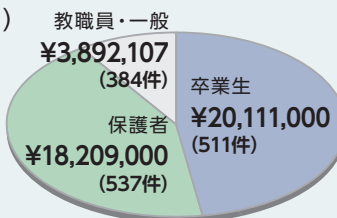
2023年度
(2023年4月～2024年3月)

総額：
39,983,368円



2024年度
(2024年4月～2025年3月)

総額：
42,212,107円



■ 基金に寄せられた声

- これから6年間娘がお世話になります。素晴らしい学校に入学できて嬉しい思いでいっぱいです。保護者
- 優れた研究者の育成、援助の手助けになれば幸いです。保護者
- 学生の皆さんが心身健やかにのびのびと人生謳歌して頂きたい。卒業生
- お金がなく進学を諦めることがない様にご支援させていただきます。次の世代の若者が、私たちを引き継ぎ、新しい日本を作って行ってください。卒業生
- 農業と自然科学を大切に人を育てて下さい。卒業生
- 世界に発信する研究と日本や世界の地域との連携を発展させてください。教職員

■ 東京農工大学基金のご案内

東京農工大学基金には、以下の種類があります。ご寄附様のご意向により、ご寄附いただく基金をお選びください。



東京農工大学基金 … 在学生への各種支援を行う基金です

グローバル人材の育成

学生の海外留学・海外派遣を支援します。



イノベーション人材の育成

起業家意識を培うため国際ビジネスの研修やビジネスプランコンテスト等のイベント開催をサポートをします。



卓越した教育の実現

学業の優秀な学生や、学会での優れた発表を行った学生へ支援します。



健全な学生生活のための環境支援

メンタルケアや就職などの支援をします。



世界に誇る学術研究の推進

国際学術論文の発表にかかる費用を支援します。



修学支援基金 … 修学を断念することがないように、経済的支援を行う基金です

経済的理由による修学困難な学生の支援

入学料、授業料などの免除や、奨学金の支給をします。



障害のある学生の支援

修学・研究活動の支援や、バリアフリー化などの環境の整備をします。



NEW



若手研究者育成基金 … 学生や若手研究者を支援するための基金です

NEW

若手研究者や研究者を目指す学生への研究活動等を支援

研究プロジェクト等にかかる費用を支援します。



論文投稿、学会発表にかかる旅費や費用を支援します。



研究者、実業家等と交流をサポートします。



現物資産活用基金 … 現物資産(土地、建物等)によるご寄附ができます

NEW



遺贈によるご寄附 … 遺言により、ご自身の遺産を本学基金へご寄附いただけます

基金事業内容の紹介

グローバル人材育成のための 『海外研究留学プログラム』

- ・海外機関での研究活動にチャレンジする経験を積んでほしい。
- ・将来、国際社会で活躍するための未来価値をはぐくんでほしい。

対象

学部最終学年(大学院進学予定者)及び
修士課程(博士前期、専門職学位課程含む)の学生

支援内容

- ▶ 渡航費用の補助: 上限20万円
- ▶ 奨学金: 地域により月額10万円または15万円

学生たちからのレポート

農学府農学専攻 2年
水谷 勇輝さん

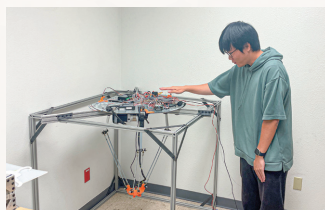


UC Merced

「果実収穫の未来を支える技術を学ぶ」
—UC Mercedでのロボット研究を終えて—

——留学でどのような研究に取り組まれましたか？

アメリカ・カリフォルニア州のUC Mercedに2ヶ月間滞在し、パラレルリンクロボットの制御に関する研究を行いました。私の目標である「果実の機械収穫」の実現に向け、農学だけでなく、機械制御の知識や技術習得を目的として挑戦しました。



——留学生活の中で得られたものは？

研究者との議論や現地の農業・食文化を通じ、日本の農業の強みや改善点を再認識しました。貴重な経験になったと感じています。



東京農工大学基金のご支援がなければ、この留学は実現できませんでした。心より感謝申し上げます。

工学府機械システム工学専攻 2年
清水 萌々子さん



ポワティエ大学

「異文化の中で研究と自分を深めた3ヶ月」
—フランス・ポワティエ大学での留学体験を語る—

——留学でどのような研究に取り組まれましたか？

フランス中部のポワティエ大学で3ヶ月間の研究留学を経験しました。専攻の電気流体力学分野において、現地の実験的研究と、私がこれまで進めてきたシミュレーション的研究を融合させることで、新たな視点を得るとともに、研究の深化を図ることができました。



——留学生活の中で得られたものは？

現地のPhD学生や研究者との交流を通じ、専門知識に加えて異文化や多様な価値観にも触れ、国際的な視野を広げることができました。言語や環境の壁を乗り越えたことは、大きな自信にもつながり、今後の研究や発信にも活かせると感じています。



博士後期課程でも、この経験を糧にさらなる飛躍を目指します！

※所属・学年は奨学金支給時のものです。

工学府生命工学専攻 2年
末木 莉子さん

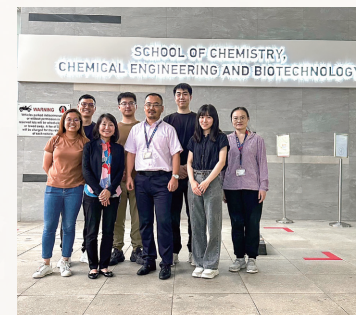


シンガポール南洋理工大学

「新しい技術を習得した実り多き留学」
—シンガポール南洋理工大学での経験を通して—

——留学でどのような研究に取り組まれましたか？

私はシンガポール南洋理工大学へ研究留学させていただきました。日本で行っていた研究の延長線上で現地学生からの指導を受けながら、日本の所属研究室ではまだ行っていない技術を習得することができました。研究室の他学生への波及にもつながることは大きな成果です。

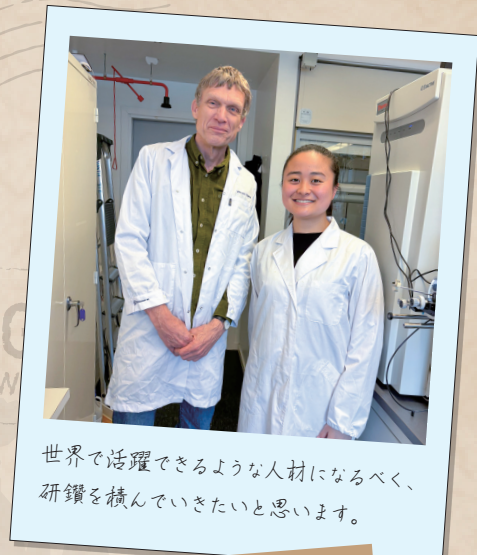


——留学生活の中で得られたものは？

現地でのディスカッションの活発さ、学習量の多さに驚かれ、帰国後も意識して学習するようになりました。



自分の人生において大きな意味を持つ3か月間になったと感じています。



世界で活躍できるような人材になるべく、研鑽を積んでいきたいと思っています。

農学府農学専攻 1年
村井 陽香さん



ノルウェー生命科学大学

「研究の社会実装の意義を環境先進国に学ぶ」
—ノルウェー生命科学大学での研究の日々—

——留学でどのような研究に取り組まれましたか？

2024年9月から6ヶ月間、北欧ノルウェー王国のノルウェー生命科学大学で脱化石資源に向けたバイオマス資源利用のためのバイオマス糖化酵素メカニズムの解明を行う研究をしました。

——留学生活の中で得られたものは？

指導教員の先生、研究室の先輩方のパッションや研究哲学に触れたことで、自身の将来を考える一助となり、とても濃い時間を過ごすことができました。また、環境先進国である北欧で生活することは、研究の社会実装の意義を考える機会となり、自身の研究のモチベーション向上にもつながりました。

※所属・学年は奨学金支給時のものです。

派遣学生有志による

海外研究留学プログラム成果発表会が行われました

8名による学生有志の発表会が行われ、研究内容はもちろん、現地での生活や、事前準備事項、失敗談、心構えなど、留学に関するさまざまな視点を共有してくれました。留学を考えている学生たちに伝えることで、一歩踏み出す気持ちを後押しし、研究留学のバトンをつないでいます。

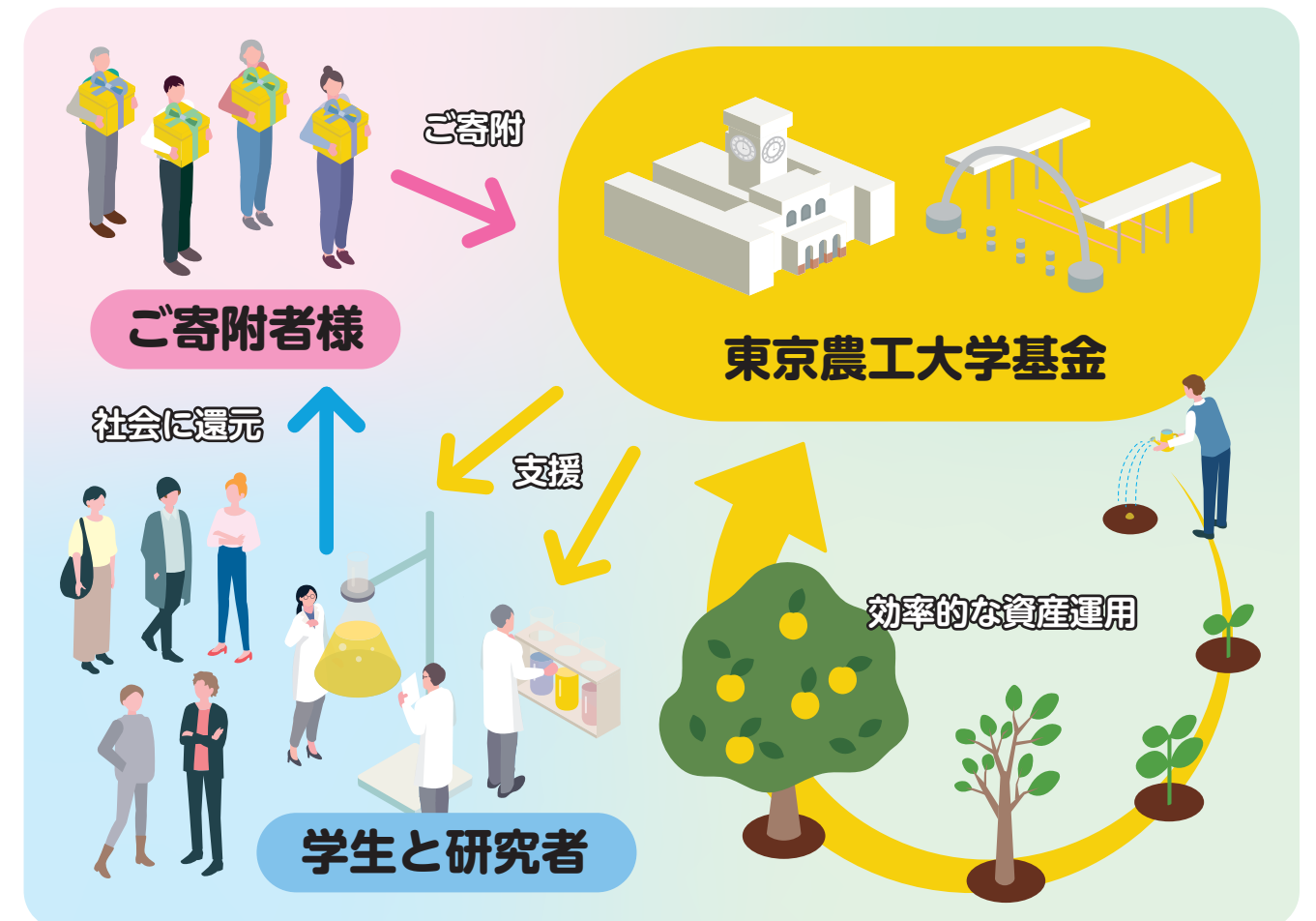


府中キャンパスに「西東京国際イノベーション共創拠点（邂逅館）」をオープンしました



東京農工大学基金が目指すもの

- 皆様からいただいたご寄附は本学の財政基盤を強化し、安定した教育研究体制を構築するため、安定的・効率的な資産運用に活用させていただいています。将来的には元本を毀損せずに運用益のみで永続的に支援可能な体制構築を目指します。
- 基金による支援は学生や研究への支援を通じ、教育研究の成果を社会に還元していきます。



未来の種プロジェクト —— 東京農工大学古本募金 ——

みなさまの読み終えた本が学生の教育・研究を支えます。

卒業生・在学生・保護者・教職員・一般の方々から、書籍（DVD・CD・ゲームを含む）をご寄附いただき、その買取金額を学生の教育・研究に役立てるプロジェクトです。

ご寄附の方法

- 古本をダンボール・紙袋に詰めます。
- チャリボンWEBサイトから集荷を申し込みます。
- 買取相当額が農工大に寄附されます。

古本は5冊から、送料無料で受け付けます。
5点未満の場合、1箱につき500円が査定額から差し引かれます。
一回の送付につき、段ボール箱3箱までとなります。



チャリボンWEBサイト
<https://www.charibon.jp/partner/tuat-u/>
※ スマホの方は、左のQRコードから農工大へのご寄附のページに直接アクセスいただけます。

東京農工大学 チャリボン 検索



■ ご寄附の種類別 申込方法と特典

東京農工大学基金では、様々な方法でのご寄附をお受けしております。
ご寄附いただく基金の種類やご寄附の申込方法によって、税制上の優遇措置および謝意の内容が変わりますので、以下の表をご参考にいただき、ご寄附の内容についてご検討ください。

基金の種類	東京農工大学基金	修学支援基金	若手研究者育成基金
	 卒業生が作る 商品を返礼品と して選べます	学生への 経済的支援を します	学生やポストドクター のために研究支援を します
	学生のために 多岐にわたる 支援をします		
申込方法	振込用紙 もしくは WEB 申込フォーム		
税制上の 優遇措置	所得控除のみ		
	所得控除または税額控除の いずれかを選択可能		
謝意	個人住民税の寄附金税額控除		
	本学 WEB サイト（希望者全員） 農・工両学部銘板（寄附金額に応じて）		
掲載 ご芳名の 返礼品	卒業生が 作る商品		
	大学オリジナルグッズ		

※現物資産のご寄附

※ご検討の方は本学基金担当にご連絡
くださいますようお願いいたします。

※遺贈等によるご寄附

■ 税制上の優遇措置

ご寄附をお寄せいただいた方は、本学が発行する領収書を控除証明書として確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出いただくと、次のような税制上の優遇措置（寄附金控除）を受けることができます。
詳しくは、「東京農工大学基金」の WEB サイトをご参照ください。

▶ 個人からのご寄附の場合

■ 所得控除（対象：東京農工大学基金 修学支援基金 若手研究者育成基金 NEW）

控除後の金額が所得税の対象となるため、所得税率が高い方は減税効果が大きくなります。

計算式

課税所得

諸控除(扶養控除等)

寄付金額控除
(寄付金額－2,000円)
総所得の40%を限度とする

総所得－

× 税率 = 所得税額

所得に応じた率

■ 税額控除（対象：修学支援基金 若手研究者育成基金 NEW）

寄附された方の所得税率に関わらず、寄附金額の一定割合が直接控除されます。
このため、多くの場合で上記の所得控除よりも減税効果が大きくなります。

計算式

所得税額

課税所得

諸控除(扶養控除等)

総所得－

× 税率

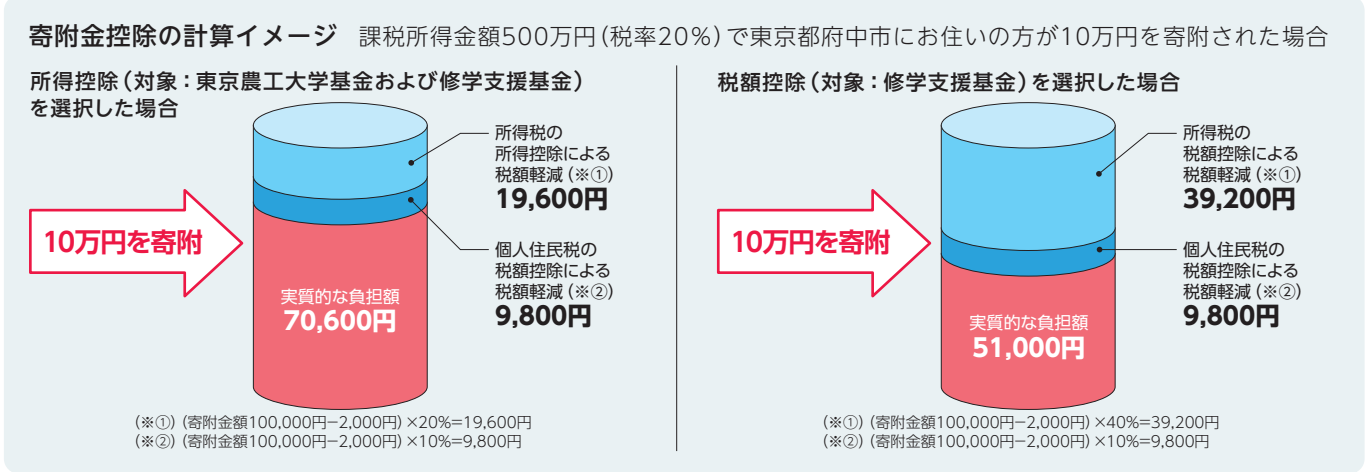
所得に応じた率

－

寄付金額控除 所得税額の25%を限度とする
(寄付金額－2,000円) × 40%
総所得の40%を
限度とする

■ 個人住民税の寄附金税額控除

お住まいの都道府県・市区町村が、条例で本学を寄附金控除の対象として指定している場合、個人住民税の控除を受けることができます。詳しくは、お住まいの住民税担当部署へお問い合わせください。



▶ 法人からのご寄附の場合

■ 法人税の損金算入（法人税法第37条第3項第2号）

当該寄附金の額を全額損金算入することができます。

ご寄附の申込方法

▶ ご寄附の金額(目安)

原則として一口1万円以上でお願いするものですが、額にかかわらずお受けいたします。（＊千円単位）

▶ ご寄附の方法

 WEB 申込みフォームからのご寄附（クレジットカード・コンビニ・Pay-easy による方法）

「東京農工大学基金」の下記WEBサイトから簡単な操作でご寄附いただけます。

東京農工大学基金

検索

<https://kikin.tuat.ac.jp>



〒 郵便局で振込用紙によるご寄附（郵便局・ゆうちょ銀行）

- 右の振込用紙に必要事項(ご依頼人・通信欄)をご記入のうえ、郵便局またはゆうちょ銀行の窓口からお振込ください。その他の銀行では、お取り扱いができませんので、ご注意ください。
- **ご依頼人・通信欄「1. 寄附目的」について**
1)・2)・3) いずれか1つの目的を選択してください。それ以外の場合は、「1) 東京農工大学基金」へのご入金とさせていただきます。

▶ 振込手数料について

振込手数料は本学が負担いたします。

▶ 領収書について

領収書は、ご寄附いただいた月の約2ヶ月後に発送いたします。

なお、領収書発行日は、寄附金が決済代行業者や金融機関から本学に入金された日付となります。

► 注意事項

一度ご入金いただいたご寄附のお取り消し・ご変更・ご返金は承れませんので、ご注意ください。

このページでご案内したWEB申込みフォーム・右ページ上の振込用紙では「農工大つながるプロジェクト」にお申込みいただけません。
「農工大つながるプロジェクト」によるご寄附のお申込みは、T-8ページをご参照ください。

 謝意

『農工大の演習林の木』
を使った時計をつくりました。

2024年9月1日以降に、1回20万円以上
ご寄附いただきました方に、創基150周年
を記念して製作した時計を贈呈しており
ます。
(100個限定のため、なくなり次第終了
させていただきます。)



ご寄附者全員

- ①東京農工大学オリジナルグッズをお送りいたします。
(オリジナルグッズの内容は、ご寄附額及び時期により異なりますので、ご了承ください。)
- ②本学WEBサイトへ、ご芳名を掲示いたします。(※1)



農・工両学部での銘板の掲示（※1）

個人で10万円以上、法人・団体等で100万円以上のご寄附をいただいた方のご芳名を「東京農工大学基金寄附者銘板」に刻み(※2)、末永く顕彰させていただきます。

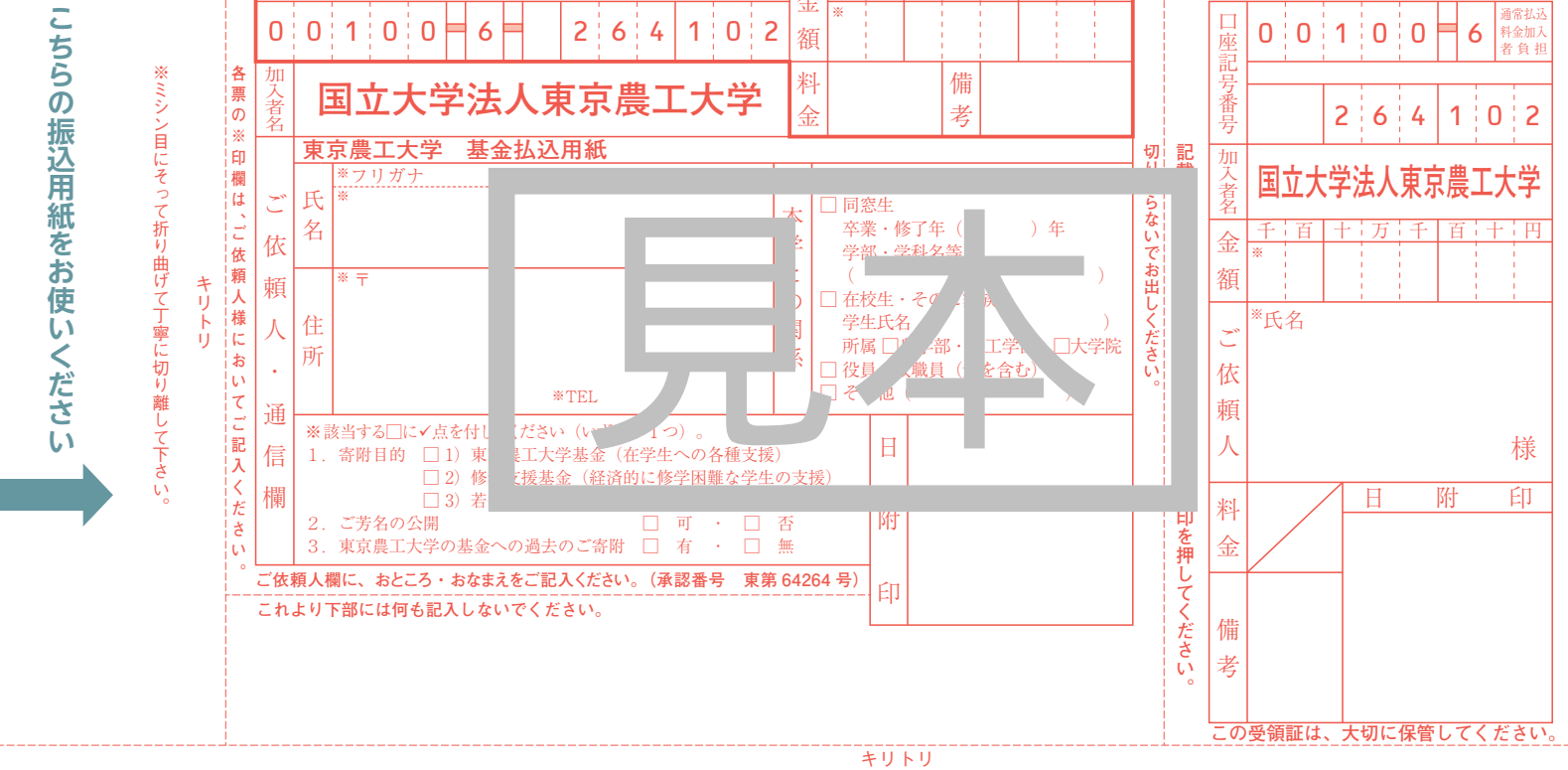


【銘板の設置場所】

府中キャンパス 農学部本館1階 ロビー／農学部本館1階 第一会議室前

小金井キャンパス 管理棟(CUBE)1階 ロビー／管理棟(CUBE)1階～2階への階段踊場

※1 ご芳名の掲載を希望されない方については、掲載いたしません。 ※2 掲示の時期につきましてはお問い合わせください。



東京農工大学基金WEBサイト

<https://kikin.tuat.ac.jp>



お問い合わせ先

東京農工大学総務課広報室

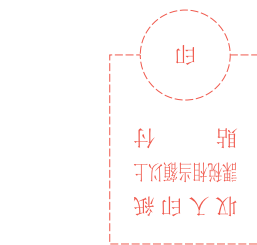
〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1

TEL:042-367-5895 FAX:042-367-5553

E-Mail:kikin2@cc.tuat.ac.jp

(2025年8月発行)

東京農工大学基金のご案内 A-11

[illegible]